

# 施設概要

当研究所では、生物を用いた各種試験や極微量化学物質の分析に対応可能な施設を整備しています。

## 研究棟本館・生物棟



ダイオキシン類、POPs(残留性有機汚染物質)などの極微量化学物質の分析が可能なケミカルハザード分析室を備えています。



専門的な同定技術を有する多くのスタッフにより、さまざまな生物群の同定を行っています。現地で採集した泥や砂の中から生物を拾い出すための専用のソーティング室(前処理室)を備えています。



研修会議室では、定期的に自主セミナーを行うほか、全社をテレビ会議システムでつないだ技術報告会を行っています。

## 生物実験棟



水生生物を飼育し、環境条件や環境影響を把握するための施設です。各所でろ過海水、地下水、曝気ブローが利用可能です。本施設は、水産動物用医薬品のGLP適合施設認定を、民間で初めて受けています。

## 閉鎖系試験室

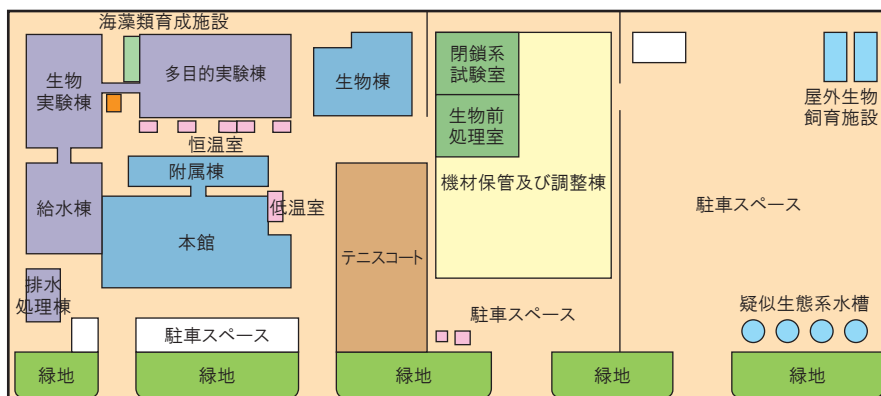


循環ろ過による閉鎖系飼育試験施設で、外部と隔離した状態で魚病ワクチンの効果判定試験などを行います。独立した2系統の設備を備えており、淡水生物と海産生物を対象とした実験を同時に行うことが可能です。

## 多目的実験棟



化学物質の生態影響試験などを行う施設、試験に用いる各種水生生物の飼育室、高精度で環境制御が可能な恒温試験室を備えています。



### 平面図

敷地面積 12,522 m<sup>2</sup>  
 建築面積 4,206 m<sup>2</sup>  
 延床面積 6,522 m<sup>2</sup>